

令和5年度「おかやま森づくり県民税」事業実績について

県民共有の財産である森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させるため、「おかやま森づくり県民税」により実施した森林保全事業の実績を報告する。

1 おかやま森づくり県民税の趣旨

水源の涵養や県土の保全、地球温暖化の防止など、全ての県民が享受している森林が有する公益的機能の重要性に鑑み、県民の理解と協力の下に、森林の保全に関する施策の一層の推進を図る。

2 施策の基本方針

- (1) 水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり
- (2) 森林整備を推進するための担い手の確保・育成と木材の利用促進
- (3) 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進

3 事業の成果

- (1) 水源の涵養、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり
(396,794 千円)

ア 健全な人工林の整備 (285,305 千円)

健全で活力ある森林を育成するため、間伐等の実施、間伐材搬出のための森林作業道の整備、少花粉苗木による植替えの促進及び伐採と再生林のコスト低減の取組等を支援した。

イ 多様な森づくりと快適な森林環境の創出 (111,490 千円)

松くい虫及びナラ枯れ被害林の再生、被害木伐倒等による駆除、集落周辺などの森林の荒廃状況調査、地域の実情や課題に対応した市町村による森林保全の取組を支援した。



健全な人工林へ向けての間伐実施



少花粉苗木への植替え (モデル林整備)



伐倒くん蒸によるナラ枯れ被害防除

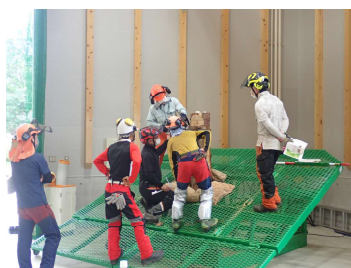
(2) 森林整備を推進するための担い手の確保・育成と木材の利用促進(206,085千円)

ア 力強い担い手の確保・育成(34,094千円)

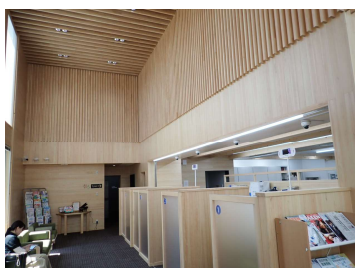
林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材を育成するため、高校生等への林業就業体験支援、現場指導者への研修会の開催、安全装備や労働強度の低減資機材の導入等を支援した。

イ 木材の利用促進(171,991千円)

県産材の需要拡大を図るため、公共建築物や住宅等への県産材の利用促進、県産材サポーターの養成、木造建築に関するセミナーの開催、国内外への県産製材品等の販路拡大及び森林認証の取得等を支援した。



現場指導者の育成



公共建築物等の木造化支援



販路拡大のための海外展示会

(3) 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進(47,791千円)

ア 県民への情報提供(27,573千円)

森林の働きや林業の役割を普及啓発するため、一般県民が参加するイベントや図書館等でのパネル展示、小学生向け社会科副読本の作成及び高校への木製品の導入等を実施した。

イ 県民参加による森づくり活動の推進(20,217千円)

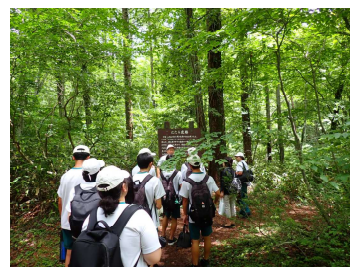
森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森づくりサポートセンターの運営(研修会の開催等)、企業等による森づくり活動の支援、みどりの大会や環境学習エコツアー、全国植樹祭に向けた準備等を実施した。



県立図書館でのパネル等の展示



高校への木製品導入支援



環境学習エコツアーの開催

県民税事業充当額合計 650,670千円